

平成28年台風第10号による被害状況等について(第43報)

(これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。)

※年について特段の表記がない場合は全て平成28年である。

平成29年11月8日(水) 17時00分
 消防庁応急対策室
 ※下線部は前回からの変更点

1 気象の状況(気象庁情報)

- ・大型で強い台風第10号は、平成28年8月30日18時前に岩手県大船渡市付近に上陸した後、東北地方を通過し日本海で温帯低気圧に変わった
- ・台風第10号の影響で岩手県宮古市、久慈市で1時間に80ミリの猛烈な雨となったほか、北海道上士幌町で平年の8月一ヶ月に降る雨量を超える329ミリを観測し記録的な大雨となった。また、最大瞬間風速が岩手県宮古市で37.7メートル、北海道せたな町で36.5メートルなど東日本から北日本では暴風となり、海は猛烈なしけとなったところがあった

2 被害状況

(1) 人的・物的被害

都道府県名	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷	程度不明							
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
北海道	2	2		1		24	62	934	173	310	17	5
青森県			3	4				130	2	24		46
岩手県	24	1		4		494	2,219	90	104	1,342		2,444
宮城県			1					12		6		1
秋田県			1					3				2
福島県								2				
茨城県								2				2
長野県								1				
京都府										70		
合計	26	3	5	9		518	2,281	1,174	279	1,752	17	2,500

〈死者の状況〉

- 【北海道】 1名(大樹町において、20歳代男性が橋の崩落により車が転落し死亡)
- 1名(新得町において、70歳代男性が橋の崩落により車が転落し死亡)
- 【岩手県】 1名(久慈市において、80歳代女性が家屋への浸水により死亡)
- 9名(岩泉町乙茂の高齢者福祉施設にて、入所者9名が濁流に巻き込まれ心肺停止状態で発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町穴沢において、70歳代男性が増水した川に流され心肺停止状態で発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町乙茂において、70歳代男性を心肺停止状態で発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町乙茂において、50歳代男性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町岩泉において、40歳代女性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町中里において、90歳代女性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町浅内において、60歳代女性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町岩泉において、60歳代男性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町褰野において、70歳代男性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町二升石において、50歳代男性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町二升石において、70歳代女性を発見、死亡を確認)
- 1名(岩泉町安家にて行方不明となっていた70歳代女性を同県野田村の海岸において発見、死亡を確認)

1名（岩泉町穴沢にて行方不明となっていた90歳代女性を同町中里地内小本川右岸において発見、死亡を確認）

2名（岩泉町において、上記のほか災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、災害が原因で死亡したと認められたもの）

〈行方不明者の状況〉

- 【北海道】1名（清水町において、男性が車ごと流され行方不明）
1名（清水町において、男性が建物ごと流され行方不明）
【岩手県】1名（宮古市において、男性が行方不明）

〈重傷者の状況〉

- 【青森県】1名（八戸市において、60歳代男性が自宅屋根から転落し、足を骨折）
1名（青森市において、70歳代男性が風にあおられ脚立から転落し、足を骨折）
1名（青森市において、80歳代女性が風にあおられ転倒し、左腕を骨折）
【秋田県】1名（鹿角市において、50歳代男性が梯子から落下し、足を骨折）
【宮城県】1名（名取市において、70歳代女性が自宅にて強風にあおられたドアに左手をはさまれ、中指切断）

(2) 孤立の状況等（9月18日に全て解消）

- 【岩手県】 ※最大時：9月2日に岩手県が調査結果を取りまとめた時点
久慈市 107世帯 220名（9月13日に全て解消）
岩泉町 428世帯 873名（9月18日に全て解消）
合計 535世帯 1,093名

3 消防機関の活動体制

(1) 地元消防機関等の活動

被災地では、消防機関の人員（消防吏員、消防団員）が救助、救急等の活動を実施
特に被害の大きい北海道、岩手県においては、地元消防機関により合計で586名（北海道で470名、岩手県で116名）を救助。また、消防防災ヘリ（緊急消防援助隊を除く）により合計37名（北海道防災ヘリで6名、札幌市消防局ヘリで15名、岩手県防災ヘリで16名）を救助

(2) 県内消防応援の活動

【岩手県】

ア 活動期間等

- ① 出動期間 8月31日（水）～9月12日（月）計13日間
② 延べ活動部隊数 221隊
延べ活動人員 801名
③ 最大派遣時部隊数 10消防本部 23隊
最大派遣時人員 84名

イ 活動実績

岩泉町において、安否不明者の搜索活動等を実施（心肺停止状態の安否不明者4名を発見）

(3) 緊急消防援助隊等の活動

【岩手県】

ア 活動期間等

《広域航空消防応援》

- ① 出動期間 8月31日（水）
② 出動部隊総数 3県 3隊
出動人員総数 20名

《緊急消防援助隊》

- ① 出動期間 8月31日(水)～9月9日(金)計10日間
② 出動部隊総数 6都県 257隊
出動人員総数 1,044名
※交替を含む派遣された部隊・人員の総数
③ 延べ活動部隊数 825隊
延べ活動人員 3,238名
④ 最大派遣時部隊数 6都県 93隊(ヘリ7機含む)
最大派遣時人員 364名
※9月2日(金)

イ 救助実績

23件 43名

ウ 活動実績

[8月31日]

《広域航空消防応援》

5時30分 岩手県知事から消防庁長官に対し広域航空消防応援の出動を要請

→ 秋田県、宮城県、福島県の各消防防災ヘリが出動

・久慈市大川目にて、ホイストにより救助活動を実施

・久慈市にて、情報収集活動を実施

※緊急消防援助隊の出動の求め後は、引き続き緊急消防援助隊として活動

《緊急消防援助隊》

10時10分 岩手県知事から消防庁長官に対し緊急消防援助隊の出動を要請

→ 仙台市消防局指揮支援部隊 岩手県庁到着(13時57分)

・横浜市消防局指揮支援隊 久慈広域連合消防本部到着(16時22分)

・東京消防庁指揮支援隊 宮古地区広域行政組合消防本部到着(17時00分)

→ 岩泉消防署に移動(21時20分)

・青森県大隊 岩手県久慈市(久慈市第二体育館)到着(17時40分)

・宮城県大隊 岩手県宮古市(宮古地区広域行政組合消防本部)到着(19時10分)

[9月1日]

《青森県大隊》

○久慈市下戸鎖、端神地区にて検索活動を実施

→ 久慈市における安否確認等を完了

○岩手県知事が、青森県大隊の久慈市から岩泉町への部隊移動を指示

○青森県大隊の部隊移動に伴い、横浜市消防局指揮支援隊は久慈市より引揚げ

《宮城県大隊》

○宮城県大隊及び県内応援隊 岩泉町安家地区の一部105世帯の検索活動を実施

→ 1世帯1名安否不明を確認し、搜索活動を実施

○宮城県大隊の重機 岩泉町安家地区の道路啓開及び流木等除去を実施

○宮城県大隊の救急小隊3隊及び県内応援隊 岩泉済生会病院から転院患者33名を岩泉高校グラウンドに搬送

→ 消防防災ヘリ及び自衛隊ヘリにて、SCU(岩手県消防学校)に搬送後、県内消防等により病院搬送

《消防防災ヘリ》

○岩泉町にて情報収集活動を実施

(※東京消防庁ヘリのヘリサットにより消防庁等へ映像配信)

○岩泉町水渡地区にて、住戸屋根上に「SOS」サインを確認、ホイストにより1名救助

○岩泉町内にて、透析患者をホイスト等により9名搬送

○自衛隊ヘリと連携し、転院患者33名を岩泉町の高校グラウンドからSCU(岩手県消防学校)に搬送(再掲)

[9月2日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区（国境から国道340号、国道455号沿いに南下）の検索活動を実施

《宮城県大隊》

○統合機動部隊 安家地区にて、安否不明者1名の搜索活動を継続して実施（瓦礫除去のため、仙台市消防局の重機を活用）

○その他の隊 進行ルートとなる道路通行不能のため、自衛隊ヘリ及び消防防災ヘリにより、消防隊員（94名）を空路投入し活動を実施

《消防防災ヘリ》

○岩泉町にて情報収集活動を実施

○岩泉町岩泉地区、安家地区等にて、ホイスト等により救助活動等を実施

○進行ルートとなる道路通行不能のため、孤立した活動エリアへの消防隊員（46名）の空路投入を実施（再掲）

○久慈市山根町にて、孤立者をホイストにより2名救助

[9月3日]

《青森県大隊》

○岩泉地区にて安否不明者の搜索活動を実施（36隊131名）

《宮城県大隊》

○統合機動部隊 岩泉町安家地区にて、安否不明者の搜索活動等を実施（7隊50名）

○その他の隊 岩泉町小本地区巻野にて、安否不明者の搜索活動等を実施（41隊126名）※安否不明者1名を発見→後に、死亡確認

《消防防災ヘリ》

○岩泉町にて、情報収集活動及び物資輸送等を実施

○岩泉町安家地区及び小本地区にて、上空から陸上部隊の支援活動を実施

[9月4日]

《青森県大隊》

○岩泉町岩泉地区二升石及び松橋にて、安否不明者の搜索活動を実施（36隊133名）

《宮城県大隊》

○統合機動部隊 岩泉町安家地区安家川流域にて、安否不明者の搜索活動を実施（12隊44名）

○その他の隊 岩泉町の小本川沿いに、小本地区巻野から岩泉地区二升石にかけて、安否不明者の搜索活動を実施（37隊127名）

《消防防災ヘリ》

○宮城県ヘリ 岩泉町安家地区にて、情報収集活動等を実施

○その他のヘリ 久慈市上空の天候不良のため、終日活動見合わせ

[9月5日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区、岩泉地区の小本川沿いの安否不明者の搜索活動を実施（36隊133名）

《宮城県大隊》

○岩泉町岩泉地区、小本地区の小本川沿いの安否不明者の搜索活動を実施（49隊171名）

※安否不明者（男性）1名を発見（心肺停止状態）→警察に引き渡し

《消防防災ヘリ》

○台風第12号の接近に伴い、久慈市にて、孤立地区住民をホイストにより4名救助

○岩泉町岩泉地区及び安家地区にて、情報収集活動等を実施

[9月6日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区、岩泉地区の小本川沿いの安否不明者の搜索活動を実施（36隊133名）

《宮城県大隊》

○岩泉町岩泉地区、小本地区の小本川沿いの安否不明者の搜索活動を実施（49隊171名）

《消防防災ヘリ》

○情報収集活動及び物資輸送等を実施するため、自隊基地にて待機

[9月7日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区、岩泉地区の小本川沿いの安否不明者の捜索活動を実施(24隊88名)

《宮城県大隊》

○岩泉町岩泉地区、小本地区の小本川沿いの安否不明者の捜索活動を実施(27隊106名)

《消防防災ヘリ》

○情報収集活動及び物資輸送等を実施するため、自隊基地にて待機

[9月8日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区、岩泉地区の小本川沿いの行方不明者の捜索活動を実施(24隊88名)

《宮城県大隊》

○岩泉町岩泉地区、小本地区の小本川沿いの行方不明者の捜索活動を実施(27隊106名)

《消防防災ヘリ》

○情報収集活動及び物資輸送等を実施するため、自隊基地にて待機

[9月9日]

《青森県大隊》

○岩泉町小川地区の小本川沿いの行方不明者の捜索活動を実施(24隊88名)

《宮城県大隊》

○岩泉町岩泉地区、小本地区の小本川沿いの行方不明者の捜索活動を実施(27隊106名)

《消防防災ヘリ》

○情報収集活動及び物資輸送等を実施するため、自隊基地にて待機

《全部隊》

○緊急消防援助隊は、岩手県内の応援隊及び地元消防機関へ引継ぎ、9月9日12時00分をもって活動終了

- (4) 救助人員(北海道、岩手県における消防機関等による救助の合計)
 666名(北海道491名、岩手県175名)
 ※他機関と連携した活動を含む

4 避難指示・避難勧告の状況(8月30日から9月6日までに発令された市町村)

都道府県名	避難指示	避難勧告
北海道	稚内市 富良野市 南富良野町 斜里町 日高町 新得町 清水町 芽室町 中札内村 幕別町 豊頃町 足寄町 浦幌町	帯広市 苫小牧市 稚内市 富良野市 登別市 占冠村 利尻町 利尻富士町 斜里町 白老町 日高町 様似町 新冠町 音更町 士幌町 新得町 清水町 芽室町 幕別町 池田町 豊頃町 足寄町 浦幌町
青森県	六ヶ所村	青森市 八戸市 むつ市 野辺地町 横浜町 東北町 六ヶ所村 三戸町 南部町
岩手県	宮古市 久慈市 遠野市 釜石市 住田町 大槌町 岩泉町 普代村 一戸町	宮古市 大船渡市 久慈市 遠野市 一関市 陸前高田市 釜石市 西和賀町 住田町 大槌町 岩泉町 普代村 軽米町 九戸村 一戸町
宮城県		丸森町

5 避難所の状況

【北海道】

- ・ 9月22日をもって、道内全避難所を閉鎖

【青森県】

- ・ 9月3日をもって、県内全避難所を閉鎖

【岩手県】

- ・ 12月26日をもって、県内全避難所を閉鎖

【宮城県】

- ・ 8月31日をもって、県内全避難所を閉鎖

6 都道府県における災害対策本部の設置状況

北海道	8月31日	5時30分	災害対策本部設置
	→9月12日	17時30分	廃止
岩手県	8月30日	12時00分	災害対策本部設置
	→9月23日	17時15分	廃止
宮城県	8月30日	12時00分	災害対策本部設置
	→8月30日	23時20分	廃止
三重県	8月29日	19時39分	災害対策本部設置
	→8月30日	5時25分	廃止

7 消防庁の対応

8月26日	16時00分	関係省庁災害警戒会議（第1回）に应急対策室長が出席
	16時58分	全都道府県に対し「台風第10号警戒情報」を发出
8月29日	10時00分	应急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次应急体制）
	13時30分	関係省庁災害警戒会議（第2回）に应急対策室長が出席
	14時37分	全都道府県に対し「平成28年台風第10号への対応について」を发出し、対応に万全を期すよう要請
8月31日	5時30分	岩手県知事から消防庁長官に対し、広域航空消防応援の要請を受け、宮城県知事、秋田県知事及び福島県知事に対し、広域航空消防応援を要請
	5時30分	国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部を設置（第2次应急体制）
	9時00分	関係省庁局長級会議に消防庁次長出席
	9時58分	岩手県への第一次出動都道府県大隊が属する4県（青森県、宮城県、秋田県、山形県）に対し、出動可能隊数の求め及び出動準備を依頼
	10時00分	現地活動支援のため、消防庁職員を北海道へ2名、岩手県へ2名派遣決定
	10時10分	岩手県知事から消防庁長官に対し緊急消防援助隊の出動を要請
	10時10分	消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部へ改組（第3次应急体制）
		→9月30日17時00分 消防庁災害対策本部廃止
	11時15分	消防庁長官から宮城県知事及び神奈川県知事に対し、緊急消防援助隊（仙台市消防局指揮支援隊（部隊長）、横浜市消防局指揮支援隊）の出動の求め
	11時30分	消防庁長官から青森県知事及び宮城県知事に対し、緊急消防援助隊（青森県大隊、宮城県大隊）の出動の求め
	11時30分	消防庁長官から宮城県知事、秋田県知事及び福島県知事に対し、緊急消防援助隊（航空部隊）の出動の求め（広域航空消防応援からの切り替え）

	11時45分	消防庁長官から東京都に対し、緊急消防援助隊（東京消防庁指揮支援隊）の出動の求め
	11時55分	現地活動支援のため、消防庁職員を岩手県へ2名追加派遣決定
	13時00分	関係省庁災害対策会議（第1回）に消防庁次長が出席
	19時30分	政府調査団として、災害対策官を岩手県に派遣（現地にて合流）
9月1日	16時15分	関係省庁災害対策会議（第2回）に防災情報室長が出席
9月2日	16時00分	関係省庁災害対策会議（第3回）に応急対策室長が出席
9月5日	7時40分	政府調査団として、消防救急課長を北海道に派遣
	11時00分	関係省庁災害対策会議（第4回）に応急対策室長が出席
9月6日	15時30分	関係省庁災害対策会議（第5回）に応急対策室長が出席
9月7日	11時45分	総務大臣及び消防庁国民保護・防災部長が被災地を視察するとともに、岩手県庁及び岩泉町役場に赴き、岩手県知事及び岩泉町長等との意見交換及び消防職員・消防団員への激励を実施
9月8日	16時00分	関係省庁災害対策会議（第6回）に応急対策室長が出席
9月12日	17時00分	関係省庁災害対策会議（第7回）に応急対策室長が出席

<p>問い合わせ先 消防庁応急対策室 浅見・安西・高木・岩崎 TEL 03-5253-7527 FAX 03-5253-7537</p>
--